7月1日現在
人口 9,036 (先月より37人増)
男 4,481 女 4,555
世帯数2,199(先月より15世帯増)
面積 90.19㎢
人口密度 99人/㎢

昭和52年 7月号 No.234

広報いながわ

昭和43年7月22日第三種郵便物認可 定価10円

猪名川町役場
兵庫県川辺郡猪名川町
柏梨田字前ケ谷158番地の1
(〒666—02) TEL0727(66)0001㈹
編集 広報編集会議
発行 総務課

参議院議員通常選挙 投票日は7月10日(日)です

任期満了に伴う参議院議員通常選挙は、先月十七日に告示され、今月十日（日）が投票日です。

町選挙管理委員会と町明るい選挙推進連絡協議会では明るい選挙の推進と棄権防止を呼びかけています。

参議院には衆議院とはまた違った〝良識の府〟としての重大な役割があります。「よく見、よく聞き、よく考えて」—七月十日の投票日には、みんなそろって投票しましょう。

ひとり残らず 悔いなき一票を

参議院は、全国区選出議員百名、地方区選出議員百五十二名で、議員定数二百五十二名。任期は六年で、全国区、地方区ともにその半数を三年ごとに改選するしくみです。参議院の役割はいうまでもなく、衆議院の行き過ぎをチェックし、誤りがあれば是正するという機能を発揮することです。参議院制度が発足して今年でちょうど三十年。地方選挙に比べ身近さが感じられないせいか、これまで投票率はあまり高くありませんでした。当町での前回参院選（昭和四十九年）の投票率は七四・八％（男七六・一％、女七三・四％）となっています。

今回の選挙は、私たちの代表として、これから六年間国政をまかせる人を選ぶ重要な選挙です。自分の持つ一票を有意義に生かすため、この人はという人に清い一票を投じましょう。

投票できる人

この選挙で、猪名川町内で投票できる人は、昭和三十二年七月十一日までに生まれた人で、昭和五十二年三月十五日までに町の住民基本台帳に登録されている人です。

投票所は 自治会別

十日の投票日は、町内十一カ所（別表）の投票所で午前七時から午後六時まで投票が行われます。

今回の選挙から投票所は新たに松尾台集会所を加え十一カ所になりました。そのため、松尾台、原、内馬場の自治会は第十一投票所に変りますのでご注意ください。

投票所の入場券

各自治会長さんから有権者のみなさんのお手もとにお届けします。

投票日に、受付でこの入場券とひきかえに投票用紙をお渡しします。入場券がなくても選挙人名簿に登録されている人なら投票できます。投票用紙は、地方区（ウグイス色に黒インクで印刷）と全国区（白色に赤インクで印刷）の二種があります。間違うと無効投票になりますので十分ご注意ください。

選挙公報

立候補者の略歴や抱負を掲載した選挙公報は入場券と共にみなさんにお届けします。よく読んで、この人こそは、という人を選んでください。

＜綴って保存しましょう＞

あなたの投票所です

投票区	投票所名称	区域
1	阿古谷小学校体育館	民田、上阿古谷、下阿古谷
2	町民会館	北田原、南田原、北野、紫合
3	中谷中学校体育館	柏梨田、上野
4	広根公会堂	広根、銀山、猪渕
5	槻並公会堂	槻並
6	楊津小学校図書室	万善、木津、木間生
7	母子健康センター	栃原、林田、笹尾、清水（字平田、馬場、長田を除く）
8	大島小学校講堂	清水東、仁頂寺、島、鎌倉、杉生、西畑、清水（字平田馬場、長田）
9	柏原公民館	柏原
10	猪名川台自治会館	差組、肝川
11	松尾台集会所	原、内馬場、松尾台

白バラは明るい選挙のシンボルマークです

活発な野外活動が認められ 山の子会に県くすの木賞

野外活動を通じて青少年の育成に貢献した—として町の野外活動グループ「山の子会」がくすのき賞を受賞。

同賞はボランタリー活動なども通じ人間連帯の輪を広げ、心ゆたかな地域社会に貢献した団体に県から贈られるもの。

山の子会は昭和四十年に結成され、野外活動を通じて、会員相互の親睦を図り指導者としての技術を身につけることを目的としている。最近の活動は子ども会のキャンプ、レクリエーション指導、キャンプ場の整備などを行い、地域と密着した活動の輪を広げている。

今度、県くすのき賞を受賞することは、私達「山の子会」会員にとって大変名誉なことであるとともに、大きな責任を感じます。

この賞は、現会員に対してだけでなく、猪名川の自然の中で「山の子会」を発足させ、多くの困難をのりこえて会を発展させられた、諸先輩の活動が認められたことによるものです。

私達は、ふる里猪名川町の恵まれた自然をよく愛し、その中で野外活動を通じ、会員相互の親睦を深めるとともに、自然を愛するみなさんと共に語らい、活動する輪を広げ、新しいコミュニティづくりに励んでいます。

今回の受賞を契機に、私達会員は、先輩諸氏の業績に負けないよう、また、賞に恥じないよう活動の充実に努め、みなさんに愛される会を目ざしがんばります。「山の子会」会長 上保 幸夫

自然の中で歌の指導をする山の子会

野木力松さんが 衛生功労表彰受ける

第二十二回兵庫県保健衛生大会で、野木力松（内馬場 七十三歳）さんが、地区衛生組織育成事業功労者として表彰されました。

野木さんは、昭和四十六年四月に発足した猪名川町保健衛生推進協議会の設立に力を尽され、結成と同時に会長の職に着き同協議会の組織の強化、円滑な運営に努力されました。また、当時十分とはいえなかった住民の衛生意識の高揚にも尽くされ、今日の同協議会の基礎を築かれました。

「町保健衛生推進協議会」住民の自主的な組織活動により保健衛生の向上を促進し、町の衛生事業活動に協力し健康で明るい町づくりの推進を目的とする団体。

住民主体の自主運営を 基本に活動

今回名誉ある受賞の光栄に浴し、感激しています。これは全く皆様方のお力添えの賜と深く感謝しております。

昭和四十八年五月に町保健衛生推進協議会が結成、同時に初代会長に選出されその責務の重大なる事を痛感せざるを得なかったのです。幸い町職員、衛生委員諸氏にベテランの方が多く大変心強く感じました。特に広根の乾正二さんが副会長として私を補佐していただき、心強かったのですが不幸にして不帰の人となり残念です。住民主体の姿勢と住民の自主性が地区衛生活動の根本的な精神であると考え、自分が舵取り役として、活動しなければならない事を自覚し、関係機関の援助と指導を得、精一杯育成に努力を続けて参りました四十九年にごみ焼却場が設置されそのため、分別収集の完全実施には困難をきわめました。関係者の努力、特に家庭における婦人層の協力のおかげで逐次軌道にのったことは喜ばしい次第です。また、不法投棄についても難問でした。現在も跡を断たず、防止対策としては、住民一人一人が鋭い監視の眼をくばることが大切です。今後開発による人口増加に伴い色々の問題が続発しますが、町ぐるみで対処しなければならないと思います。

今後同協議会発展のため、皆様方の一層のご協力をお願い申し上げます

（野木力松）

今月いっぱい

社会を明るくする運動

青少年の非行防止を重点

7月1日は更生保護の日。この趣旨をみなさんに広く知っていただくため、今月を「社会を明るくする運動」の実施期間とされています。

同運動は、みんなが犯罪の防止と罪を犯した人の更生に理解を深め進んでそれぞれの立場において協力して、犯罪のない明るい社会を築こうという全国的な運動です。

そこで、この機会に青少年の健全な育成、非行の防止など青少年問題について考えてみましょう。

町ぐるみ摘もう非行は芽のうちに

青少年は二十一世紀の日本の担い手です。このような青少年の健全な育成は、親だけでなく社会みんなの願いです。

しかし、高校生が「家出して、不良グループに入っていた」、「集団で喫茶店でたばこをすっていた」、中学生が「集団でスーパーマーケットで万引きしていた」などこういった少年の非行が、テレビ、新聞のニュースでよく取り上げられています。青少年の非行は大きな社会問題になり、望ましい方向には向っていません。

青少年非行問題の深刻化の背景は、現代の一般的な青少年像である無気力、無感動、無感心、無責任の、いわゆる「四無主義」や「シラケ」によって象徴される生活の空虚さがあるのではないかと言われています。

一方、親や大人も青少年に対して、自信をもって確たる指針を示すことができずにいることに大きな責任があるでしょう。

青少年自身も大人もはっきりした目標をつかみきれずにいることーそのような社会風潮に問題の根源があるのでは…。

今や青少年問題は、単に行政や大人、青少年自身で解決できるほどなまやさしいものではなくなりました。

青少年が、みずみずしい知性とわかわかしいエネルギーにあふれる立派な社会の一員に成長するよう、家庭・学校・職場・社会のすべてが連帯しなければなりません。

□望ましい□社会環境を

酒、タバコの自動販売機刺激的なポスター、低俗な映画や、週刊誌など青少年一般に対する不満と無関心に対処するため、彼らの意見が反映される新しいコミュニティづくりなども進める必要があります。

□家庭に多い□原因

近年来、核家族化、少子家庭化の傾向、とも働きなどが増加しています。その為家庭での養育機能が低下し、適切な注意や関心の不足、放任、過保護、などの現象が顕著に現われ、青少年非行の主な原因を生み出しています。

家庭教育の大きな課題となるのは①自主自立の精神を養う②「厳しいしつけ」と日常の対話③親の自信と権威の回復などで、私達は家庭環境をどのようにつくっていくか今一度真剣に考えなければなりません。

□生徒指導の□充実を

青少年のノイローゼ、登校拒否、自殺などの「非社会的行動」の原因には学習内容の過密化など学校教育にも問題があるといわれています。

従来学校での学習は、知的な面に重点がおかれ、上級学校への進学教育に陥りがちでした。今後は児童、生徒が意欲的に学習にいそしむ態度を養い、楽しく充実した学校生活を経験させ個人の可能性を伸ばす教育が進められる必要があるのではないでしょうか。

さきの家庭でのしつけの欠除とともに、学歴指向の教育、生徒指導の低下は大きな問題です。

きびしい愛で青少年の育成を

児童生徒の健全な育成を図る教育のいとなみは何といっても教育環境の整備が第一である。学校家庭、地域社会が一体となってはじめて教育効果をあげることができる。文明文化の進展にともなって、次代を背負う青少年の教育にきびしい批判の眼が向けられるのも当然のことであり、われわれ関係者は、教育に十分の配慮をすることは大きな責務である。

教育を守る法は、国・県・地方公共団体にそれぞれあって、その基準は明示されている。これらのきまりを生かし、その目的を達成するためには教育にたずさわる者、教育を受ける者共に、ひとりひとりが教育の重大性を正しく理解し、精いっぱいの努力を続けることが極めて必要なことである。

最近、教育の場には、甘さがあるという反省がなされ県教委は本年度の方針に「教育の中にきびしさを」と強調しているが、社会性が未熟である③思考力、集中力、忍耐力、自制力が弱い④集団になじまない⑤過保護で放任が多い―といった調査結果が出されている。

また、非行の芽は、小学校三年生ごろから発生するといわれている。このような非行の芽を育てないために▽一人ひとりの基本的なしつけは、家庭教育を中心に徹底して身につける▽集団や社会の共通的なところは①語らいが少なくて、自己を見つめない②体格は大きく育っているが、社会性が未熟である③思考力、集中力、忍耐力、自制力が弱い④集団になじまない⑤過保護で放任が多い―といった調査結果が出されている。

また、非行の芽は、小学校三年生ごろから発生するといわれている。このような非行の芽を育てないために▽一人ひとりの基本的なしつけは、家庭教育を中心に徹底して身につける▽集団や社会の中で行う。この二点は非行防止だけでなく教育上の基本原則と考えて指導にあたるべきであろう。ある学校で―「どんな両親を望むか」―と調査しました。(1)きびしい親を望む56％・(2)考えをもった指導をしてほしい36％・(3)自由にしたい8％。結果として、生徒の大部分は、きびしい愛を要求していることがわかる。

「教育は愛なり」―親も教師も、今後きめ細かに、きびしく、子どもの幸せを守ることに努めよう。

中谷中学校教諭　森口益夫

健全な育成めざし

青少年問題協議会が発足

町では、明日の町づくりを担う青少年の健全な育成を図ろうと猪名川町青少年問題協議会発足の準備を進めていましたが、今月中に第一回会議が予定されています。

同協議会の目的は、都市化の影響を受ける当町での青少年が、大きな希望と生きがいを持ち、自立心と責任感に富んだ人間に育つよう、適切な指導、保護、健全な育成などの総合的施策に当っての必要な事項を調査、審議することです。さらに同施策の実施に当っては関係行政機関の連絡調整も図ります。

委員は十四名、保護司会防犯協会、育友会などから選ばれ、会長には原町長が当ります。第一回会議では今後の運営方針、事業計画について審議します。

若い力を正しく伸ばすことは、みんなの願い。同協議会の活動が各方面から期待されている。

第9回簡保資金融資施設の写真コンクール作品募集

□テーマ　簡保資金融資施設を題材とした明るい作品
（町役場庁舎・町営住宅・猪名川小学校・大島小学校など）

□白　黒　四つ切判・カラースライド35ミリ以上

□　賞　推薦5万円、特選3万円、入選1万円
佳作　賞品、その他トロフィー、参加賞

□締切り　昭和52年8月10日までにもよりの郵便局へ。作品は未発表に限り、住所、氏名、施設名を記入。詳しくはもよりの郵便局へ。

町税の納付は便利な預金口座振替を

金融機関があなたにかわって、ご指定の預金口座から自動的に支払います。

申込みは税務課、指定金融機関備えつけの申込み用紙で直接指定取扱金融機関へ

取扱金融機関

太陽神戸銀行本支店　協和銀行本支店
池田銀行本支店　第一勧業銀行本支店
大和銀行本支店　富士銀行本支店
住友銀行本支店　東海銀行本支店
尼崎浪速信用金庫　六瀬農業協同組合
中谷農業協同組合

信号が青でもよく見てわたろうね

幼児交通安全クラブ
4幼稚園でスタート

幼児を交通事故から守ろう―と今年も幼児交通安全クラブ（うさちゃんクラブ）がスタート。

昭和五十年に猪名川幼稚園をモデルケースに発足したところ、非常に好評を得たため、今年度からは町立四幼稚園で結成。

川西警察署の交通白書（昭和五十一年）によると、交通事故件数は一千四十九件で、前年より十二％増加しているが、中でも子どもの事故は百六十八人、二十八％と大幅に伸びています。原因の一位は「とび出し」三一％、二位「自転車運転中」二八％、三位「自転車同乗中」となっている。幼児を痛ましい交通事故から守ることは母親のみならずみんなの願い。そのため町では、交通安全施設の整備、交通安全教育の充実などを推進してきました。今年度は安全教育施策をより充実させるため、町交通指導員を設置しました。

同クラブでは、園児には基礎的な交通安全指導を行い、同時にお母さんには家庭での指導の方法を学んでいただきます。指導には、川西警察署、町交通指導員が当り、年間プログラムとして、「横断歩道の渡り方」「信号機の見方」「紙芝居」「映画」などを予定しています。

7月20日～8月31日
夏の交通事故防止運動

七月二十日から八月三十一日まで、①夏休み中の子どもの事故防止②過労運転などによる事故防止③暴走族による暴走行為の追放を重点に夏の交通事故防止運動が実施されます。

県下でことしに入ってからの事故による死者は、六月二十日現在、死者百八十一人。昨年同期の二百十八人を下回っているものの、愛知県に続き死亡事故全国ワーストツーとなっているそこで、これから夏に向けて、暑さからくる疲労や気のゆるみからくる交通事故及び、夏休み中の子どもの交通事故を防止するため次のことに注意してください。

〔家庭でのお願い〕▽正しい通行と道路の正しい横断を行う。▽車の直前、直後の横断ととび出しをしない▽路上遊戯や幼児の危険な一人歩きをさせない。

〔ドライバーへのお願い〕▽同乗者を含めたシートベルトの確実な着用▽酒を飲んだら運転しない、乗るなら飲ませないを徹底する▽運転中疲れたと思ったら必ず休養をとる。

活動しています
自治会だより ㉑
上阿古谷自治会

現在戸数五十余戸、田畑三〇余㌶、山林約二五〇㌶、県道能勢猪名川線を中心に古くから三草山南下に開けた自治会である。

地内には学制発布当初から、先人の明により開校された阿古谷小学校があり、私たちは今でも母校として親しみ、愛着の念をもっている。名所、旧跡の少ない所ですが、町の有形文化財の毘沙門堂があります。文亀二年三草山の清山寺が兵火にあった時、誰かが毘沙門天を背負い下山し、この地に祭られたと聞いています。後日木喰上人が当地を訪れ彫刻された仏像七体が、ここに安置されその微笑が現代人に安らぎ感を与えるとか…拝観者も多い。自治会運営は旧態を打破し新しいものを十分取り入れ、老若男女子どもに至るまで集会所を中心に学び努力しています。三月二十一日（春分の日）は、恒例通り総会を開き役員改選を行います。私達の自治会では、評議員制度は取らず隣組七班の長（輪番制）による多数決方法を用いています。集会所には「和似貴為」の掛軸があり、その通り内では平等互恵和の精神、外へは団結の精神で当っています。

ゴルフ場のオープン、道路河川の改修と私達の里にも後継者が育つ基礎造りも整ってきました。もう一押し努力し、住民から喜びの声が聞かれる郷土、誇りの持てる郷土とすべく、今後もがん張り続けたいと思っています。自治会長　林　稔

同和問題シリーズ (8)

部落差別をなくすために、私たちひとりひとりはどうすればいいのですか

人間教育の確立 (2)
差別を見つけ、とり除く生き方を

差別意識がみなぎっている社会意識の中にとりこにされているわたしたちが、われわれ自身の「差別を許さないというたたかい」がない限り、予断と偏見は限りなくあらわれて、わが子をさえ予断と偏見で見ていく生活習慣ができあがってしまうのです。そして、「やっぱり」、「あかん」と断定してしまうのです。これは完全に差別です。

その結果、「わたしは悲しくなりました」という悲しみと被害を与えています。このように予断と偏見で断定する差別がわれわれの生活の中に日常化して根づいています

からすの鳴かない日はあっても、人間の苦しみとそれを乗りこえる生き方を話さない日はない。そういう家庭に育つ子どもは、からだを大切にして大きくなったらお父ちゃんお母ちゃんを大事にせならんということがわかってきて、これこそ晩年の喜びになるはずですだのに家での会話といえば、勉強のこと、テストのこと、人のわる口、家庭の苦情、ボヤキ、という差別の日常の中で育つ子どもは、ひとの悲しみも考えないで自分だけがよい目をしたらよいと思う子になるか、ひとに押えつけられて不平不満がからだにみちみちた子になるしかありません。どちらも差別が作り出す悲しい子です。親は子どもを大切にしているつもりでも、実は子どもやる気を失なわせてしまっていることが多いのです。

やる気を失なわせている原因が、実は家の中にある「差別」であるということをもっともっと考えなければいけないのです。

「○○ちゃんと遊んだらいけません。」――市の清掃現業職員を見て、「あんたもお母ちゃんの言うことをよく聞かず、勉強しなかったら、ああなるのよ。」すべて差別の日常化のすがたです。

こういうように、人間をいためつけていく事実を差別といいます。この人間をいためつける事実についてもっともっと考え、つきつめていけば、その根本に部落差別問題が見えてきます。この部落差別を真剣に見つけ、これをとり除く生き方ができてこそ、じぶんの子どもをほんとうに人間として正しい生き方ができる子どもに育てることができるのです。

人間の生活を見て、その生き方の中から人間の苦難を考え、差別にみちたこの社会の中で、その差別をなくしていこうとする生き方こそ、人間の尊厳を作るものです。

（続く）

川西能勢ライオンズクラブ―
交通指導バイクを寄贈

交通指導員専用車として登場するバイク

交通安全指導に利用して―と、先ほど川西能勢ライオンズクラブ（会長本射茂）から町交通対策委員会へバイク一台（原動機付自転車50cc）が寄贈されました。町交通対策委員会では、今年度設置した交通指導員の専用車として、街頭指導、町内パトロールなどに活用していきます。

また、同クラブより、町民会館へ雨傘（黄色）三十本が贈られました。これは町民会館利用のみなさんに急な雨の時などに利用していただくものですから、大切に使ってください。利用後は必ず町民会館にお返し願います。

善意の人に感謝状
マッサージ師の平井さんへ

五年間も続けて毎年柏原地区の老人にマッサージの率仕をされている七名のグループに、町から感謝状が贈られました。

この善意の人達は、柏原出身で大阪市内でマッサージ業を営んでおられる平井美市氏を中心としたグループ。平井さんは故郷のお年寄りに、喜こんでもらえればと始められ、今年で五年目、毎年田植の終った頃か十月の敬老の月間中に柏原地区を訪問されるので、同地区のお年寄りも大喜び。

原町長から感謝状を受ける平井さん

"あなたの地区の"
教育推進員さんです

教育推進員は、教育委員会のおしすすめている▽生涯教育▽同和教育▽青少年ーションの普及奨励▽市民文化の振興等がスムーズにできるよう自治会と教委のパイプ役をしていただいたり、申込みの窓口といったご苦労の多い仕事をしていただいている方です。

自治会名	教育推進員名	電話番号	自治会名	教育推進員名	電話番号
原	切通明男	66－0276	万善	神田勇	68－0614
内馬場	鍋谷将	66－0552	榎並	北上儀一	68－0500
民田	辻安正	66－0491	木津上	肥爪稔	68－0002
上阿古谷	乾光雄	66－0626	木津間	川西弘	68－0727
下阿古谷	井谷恭一	66－0227	木原生	南松治	68－0853
北田原	古南義和	66－0254	栃田	福本清夫	68－0726
南田原	村山芳樹	66－0373	林田尾	庵原三郎	68－0027
北野	井上安雄	66－1027	笹水	久保千代子	68－0617
紫合	三浦義夫	66－0122	清水東	福井守	69－0387
柏梨田	西浦文男	66－0685	清寺	真田保男	69－0040
上野	上田隆	66－0815	仁頂	奥村貞夫	69－0544
広根	下岡千佳子	66－0010	島	西山幸太郎	69－0618
銀山	吉岡俊次	66－0773	鎌倉	中島勝	69－0181
猪剡	本克彦	66－0130	杉生	森田清	69－0719
肝川	仲間茂二	66－0263	西畑	和田鶴松	69－0600
差組	福田長治	66－0116	柏原	中林長平	69－0632
猪名川荘苑	川島功	66－1628	万善荘	宮部文男	68－0844
猪名川台	三井一彦	66－0709	東山	望月光蔵	68－0499
松尾台	植木正彦	66－3250	猪名川グリーンランド	佐竹道富	68－0356

この季節は 食中毒に注意しよう

梅雨から夏にかけてたべ物が腐りやすく、食中毒も発生しやすい時期です。家庭での食中毒の発生は毎日の心がけによって防ぐことができます。そのためには、食事を作る台所の衛生が第一条件です。

まず、調理する人は健康に気をつけ、手の傷には特に用心すること。（傷口から細菌が食物に付着して、食中毒の原因になります）。第二に料理前にかならず手を洗いましょう。特に用便後の手洗いを励行しましょう。

第三にほうちょう・まな板・ふきんはきれいに洗浄して、日光消毒しましょう。

第四に、調理したものは、早めに食べ、残さないようにしましょう。

第五に、冷蔵庫を過信しないこと。冷蔵庫内は定期的に点検して上手に使いましょう。

第六に、ネズミハエ、ゴキブリは、バイ菌を運ぶので徹底的に駆除しましょう

最後に生水、なま物にも十分気をつけて健康に留意したいものです。

芸メモ

7月の稲作管理

七月中旬より八月上旬にかけての約二〇日間は、稲作中期です。

稲作前期では、植付より有効分けつ（穂のでる茎）確保に努力したが、稲作中期では、稲の姿勢調節（太陽の光を株元まで十分受入れる）や、倒伏防止、稲の体質改善をはかる時期です。このため、中期では窒素の効きすぎはよくありません。

間断潅水や中干しの水管理によって根を丈夫にすることが最も大切です。排水のよくない田は、気温の上昇とともに、土中では酸素不足が生じ、有機物の分解も悪く、また、硫酸系の肥料が施用されていると、硫化水素ガスが発生しやすくこれが根ぐされの原因となります。このため新しい水の入替が必要です。

その後の水管理は幼穂形成期（出穂二十五日前）ごろから間断潅水し、穂ばらみ期から開花期ごろ最も水が必要です。

こうした管理によって、稲の姿勢がよくなり、倒伏しにくい、登熟の良い稲ができます。

中干し後の潅水は徐々におこないます。本年の天候は昨年に引つづき冷害が予想されます。

今後の気象予報に注意するとともに、葉いもち病の発生しやすい環境ですので早期発見につとめ、早目に次の薬剤を散布して下さい。

農薬は、ヒノザン粉剤か、キタジンP粒剤、またはフジワン粒剤のいずれかを一〇アール当り三キロ散布して下さい。

フジワン粒剤は約四〇日間の持続効果がありますので経済的省力防除となります。

また、この時期にあぜ雑草の一斉刈取を実施すると病気や害虫の密度を下げることができ、最近問題となっている斑点米の防止となり良質米生産ができます。

一方、ウリノカワ等の永年雑草でお困りの方は、グラスジンDやバサグランがあります。

グラスジンDの使用時期は有効分けつ終止期から出穂三〇日前の間で、十分落水して散布し、散布後は二日～三日、かけ流しや入水をしないで下さい。

グラスジンの早期使用は薬害の恐れがありますので使用時期を厳守して下さい。

また、バサグランは、ウリノカワ等永年雑草の発生盛期～増殖期に散布し、使用はグラスジンに準じて使用して下さい。いずれも水管理が大切ですので十分注意して下さい。

この除草剤は価格が高いので、永年雑草が局地的に発生している場合は部分的に散布する（スポット処理）のが経済的です。

宝塚農業改良普及所

おしらせ

◇……◇
町役場　66―0001
六瀬支所　68―0001
町民会館　66―0239
◇……◇

保健

胃の集団検診

ガンは現代の難病の一つです。ガンによる死亡を少なくするには、早期発見、早期治療以外にありません

胃の自覚症状の有無にかかわらず、この機会に必ず受けましょう。

▽7月11日（月）母子健康センター・町民会館の二カ所で、時間はいずれも午前9時から同11時まで。

▽対象　町内在住の三十五歳以上の人　▽料金　700円

乳児検診

とき　7月19日（火）午後1時～同3時
ところ　母子健康センター

成人病相談

とき　7月21日（木）午後1時～同4時
ところ　木津総合会館
内容　高血圧、糖尿病、心臓病などの相談

当日、お越しになれない人は電話でご相談ください

木津総合会館☎68―0217

母親学級

とき　8月9日（火）午後1時30分～同4時30分
ところ　町民会館
対象　妊婦
内容　歯科検診、血液検査など無料で実施
とき　7月19日（火）午
担当　医師、保健婦など

歯の無料検診

川西市歯科医師会の事業の一環として、歯の検診、栄養指導、フッソ塗布を無料で行います。

▽とき8月25日（木）午前9時～午後2時▽ところ　町民会館▽対象　一般住民（特に10歳未満の児童、幼児）▽担当　歯科医師、歯科衛生士

乳児相談

とき　8月2日（火）午前10時～午後12時
ところ　松尾台集会所

し尿浄化そうの――汚泥処理手数料金について

このほど尿浄化槽の清掃によりくみ取られた汚泥の処理経費を、設置者に手数料として一部負担していただくことになりました。

し尿浄化槽を設置されている家庭では、機能を十分発揮できるよう町の許可業者に委託し尼崎市の処理場まで運び、処理は尼崎市に委託しています。

そこで、四月から逆のぼりくみ取った汚泥の量によって、処理に要する費用の一部を負担していただくことになりましたので、ご協力ください。

汚泥処理手数料についての詳細は、町役場厚生課衛生係までお問い合わせください。

ご注意

利用を

心配ごと相談

老人福祉、生活保護など

納税をお忘れなく

固定資産税第二期分の納期限は、八月一日までです。納税はお早めにお願いします。

―国民安全の日―

一日は国民安全の日、みんなで安全意識を高め産業安全、交通安全、火災予防などあらゆる安全について考えて見ましょう。

お年玉ハガキの賞品は7月19日まで

お年玉つき年賀ハガキの賞品交換期限は、今月十九日まで。今一度調べ、お近くの郵便局へ。

募集

町営住宅の入居者

町営住宅の入居者を次の要領で再募集します。

▽構造　木造瓦葺平屋一戸建（六畳、四畳半、三畳など）▽所在地　猪名川町島字西山▽入居資格①現在同居している、又は同居しようとする親族がある②収入が基準月額6万5千円～8万1千円③町内に在住もしくは勤務している者▽家賃　月額2千円▽入居可能日　七月二十五日▽申込み・問い合わせ7月15日までに町役場建設課まで。

その他

給食センターに調理機など新設

町給食センターでは、児童生徒の増加対策並びに衛生管理の充実を図るため、新たにガス回転釜（二）、食缶消毒保管庫（三）などを設置しました。

奥山世民さん

紫合の歯科医奥山世民さん（七十五歳）が六月二十二日病気のため亡くなられました。奥山さんは長年町内の歯科医療活動に務めておられました。

猪同教副会長に田中さん

先月号三面猪名川町同和教育研究協議会の記事の中で、五十二年度副会長は肥爪稔、畑中恒司さん二人でしたが、槻並の田中静代さんを加え三人に訂正します

家庭内の悩みごとについて町民生委員が相談に応じます。

▽7月19日（火）木津総合会館▽8月2日（火）町民会館　時間はいずれも午前10時から午後12時まで

慶弔

およろこび

差組　小西　愛　3・26
北野　東澤英司　4・14
松尾台　和田真理　3・29
紫合　猪口　剛　4・14
良典、雅子　憲一、篤子

おくやみ

鎌倉　田中春香　4・1
定雄、芳子
肝川　車　義雅　3・12
国治、美雪
南田原　村山智美　3・18
仁頂寺　井上江利子　4・2
上野　福中たつ　4・3
一郎、鈴子　寅夫、玉子
下阿古谷　井谷美徳　3・19
上阿古谷　東尾幸太郎
差組　織部　健　4・3
秋麿、紀久子　4・4
好一、良子　紫合　白井菊松　4・5
笹尾　平井　美香　3・19
差組　室　麗子　4・3
上阿古谷　仲井小たに
均、佳代　善四郎、純子
木間生　南　幸恵　3・22
木津　城崎文博　4・6
槻並　下浦はな　4・7
隆志、洋子　貞幸、雅代
差組　織部　健　4・10
紫合　村田智美　3・26
柏梨田　若狭朋子　4・11
昇次、千恵子　民田　熊井みゆき　4・19
省吾、栄子

〝みんなで清潔な環境を〟

夏の一斉大掃除7月20日～7月31日

快的な生活環境は、私達一人ひとりの手でつくりましょう。
それが明るい町づくりにつながります。
この機会に家族全員で、家の中はもちろん周囲も掃除し、
明るく清潔な環境づくりをしましょう。

猪名川町役場
猪名川町保健衛生推進協議会

自由水泳は21日から

広根、笹尾の学校プール

□ 学校プールは

・7月20日までは学校専用期間で、自由に泳ぐことができません。
ただし、土曜日午後、日曜日は地区こども会等で指導責任者のあるグループに限り使用できます。申込みは教育委員会へ
・7月21日から町内のこども達は自由に泳ぐことができます。

□ 町民プールは

今年度はプール整備のため閉場します。